



村民が主役の

「村民協働によるまちづくり」を推進

任期満了に伴う美浦村長選挙は4月16日告示され、無投票で中島栄村長が再選されました。

四期目の任期の初日となる5月15日、中島村長は役場本庁舎の玄関前において、村民の方や職員に拍手と花束で迎えられました。

今期の主要施策には、「村民協働のまちづくり」として子育て環境の充実や高齢者の生涯学習への支援等、「教育環境の整備」として教育環境の適正規模と適正配置の推進や美浦の文化を誇れる活動の支援等、「企業誘致と農業の魅力向上」として企業誘致に向けた村独自の優遇制度の創設や施設園芸の誘致と雇用促進等、「行財政と安全・安心の取り組み」として財政の健全化や防災行政無線・防犯カメラの有効活用等を掲げ、村長以下役場職員一丸となつて取り組んでいきます。

就任のごあいさつ

美浦村長 中島 栄

この度の4月の統一地方選において、無投票により再選という結果となり、再び美浦村長としてこれからの村政を担っていくにあたり、改めて村民の皆様の信任の大きさ、職責の重さを感じるとともに、身の引き締まる思いでございます。

これまでも、村政の執行において山積する多くの課題を、役場職員はもとより、村議会議員各位の広い見識のもと、村民の皆様の期待に添うべく誠意研鑽を重ね、「人と自然が輝くまち 美浦」づくりに邁進してまいりました。今、美浦村が置かれた社会的環境を見ますと、全国的な少子高齢化とともに、人口減少が進み、地方が抱える問題は深刻であり、都市部と地方の格差が広がっています。地方への人の流れをつくるべく、国は地方創生本部を立ち上げ、地方が特徴を生かした社会を創生できるよう「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の支援が始まっております。美浦村は『小さな拠点づくり』を合言葉に地方的な国の支援を最大限に生かしながら、自立的で持続的な社会を目指し、地域主権の確立に向けて、村民自らが村政に参加できる「自分たちの村は、自分たちで創り守る」という協働のまちづくりを掲げてまいりました。美浦村の先人たちが築いてきた伝統文化や、霞ヶ浦をはじめとした豊かな自然環境と景観は、私たちがその保全と活用を未来に繋いでゆかなければなりません。住民と行政が手を携えて、「村民が主役」の村民による村民のための村政を推進してまいる所存ですので、皆様方のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。